

令和2年度 学校評価アンケート結果分析

岐阜清流高等特別支援学校

1 生徒対象アンケート結果分析

- ・全21項目の質問に対し、肯定的な回答（A：よくあてはまる、Bややあてはまる）の割合が80%以上の項目数は、18項目あった。
- ・前年度と同一項目の17項目における肯定的な回答を比較すると、16項目で前年度の割合を上回っている。
- ・否定的な回答（C：あまりあてはまらない、D：まったくあてはまらない）の割合が30%以上の項目は、0であった。
- ・否定的な回答の割合（10%以上）がやや高い項目は、
 - 項目 6 「学校の先生は、進路に関する連絡や情報提供をわかりやすく伝えている」
 - 項目 9 「学校の先生は、生徒たちに愛情をもって接している」
 - 項目 12 「学校の先生は、生徒の気持ちや様子をくわしく知っている」
 - 項目 19 「毎日、学校に行くのが楽しい」
 - 項目 20 「学校は、笑顔ややる気にあふれて活気がある」であった。
- ・肯定的な回答の割合（85%以上）が高い項目は、
 - 項目 4 「学校の先生は、自分の将来のことなどについて親切に相談にのってくれる」
 - 項目 10 「学校の先生は、生徒たちの教育に熱心に取り組んでいる」
 - 項目 13 「学校の先生は、注意をするとき、生徒をたたいたりなぐったりしない」
 - 項目 16 「学校では、先生と生徒が信頼し合って活動している。」
 - 項目 21 「学校の先生から役に立つアドバイスをもらっている」であった。

2 保護者・学校運営協議会委員対象アンケート結果分析

- ・全30項目の質問に対し、肯定的な回答の割合が80%以上の項目数は、24項目あった。（すべての項目で70%以上）
- ・前年度と同一項目の26項目における肯定的な回答を比較すると、すべての項目で前年度の割合を上回っている。
- ・否定的な回答の割合が20%以上の項目は、0であった。
- ・否定的な回答の割合（10%以上）がやや高い項目は、
 - 項目 6 「学校の教育方針や指導の内容を保護者（地域）へわかりやすく伝えている」
 - 項目 7 「学校は、生徒の様子などについて、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なっている」
 - 項目 16 「学校の先生は、生徒の実態を的確に捉えている」
 - 項目 25 「学校は、活動のPR（広報）を積極的に行っている」であった。
- ・「E：わからない」と回答した割合が15%以上の項目は、
 - 項目 19 「学校では、体罰の防止に努めている」
 - 項目 20 「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している」であった。
- ・肯定的な回答の割合（90%以上）が高い項目は、
 - 項目 1 「学校の教育目標や指導方針の内容に共感できる」
 - 項目 3 「学校では、先生と生徒が信頼し合って活動している」であった。

3 成果と課題

- アンケート回収率は、生徒対象アンケート95%、保護者・学校評議員対象アンケートが95%であった。
- 学校運営に対して、おおむね肯定的な評価であり、職業教育を柱にした本校の取組や教職員の指導に理解を得られている。
- より学校と家庭が連携して、生徒の自立をサポートするため、一人一人の生徒、保護者に対して丁寧に進路に関する連絡や情報提供を行ったり、日常生活等における生徒指導の取組みを伝えたりしていくことが必要である。
- 開校から3年が過ぎこれまでの実践を振り返り、継続して取り組むこと、改善が必要なこと、新たな取組みが求められていること等を整理し、学校運営を進める必要がある。